



砲丸投げで全国大会出場

しみず みさと 清水 美里 さん

PROFILE

しみず みさと(15・佐倉三区)

浜岡中学校3年生。県選抜では2.721kgの砲丸を12.96m投げ、標準記録突破により全国大会へ出場。

走者から投てき者へ

「自分が頑張った分だけ記録が出る。練習も大会も含めて、陸上の全部が楽しいです」と笑顔で話すのは、陸上女子砲丸投げで県中学総体と県選抜での優勝を決めた清水美里さん。県大会で標準記録を見事突破して、8月18、19、20日に香川県で行われた第41回全日本中学校陸上競技選手権大会へ出場した。

美里さんが陸上と出会ったのは小学3年生の時。陸上のクラブチーム「小笠アスリートクラブ」に所属する兄の練習について行ったことがきっかけだという。練習に参加し、友達が増え、競い合うことで陸上の楽しさに気づいたそうだ。「始めた頃は短距離走などの走る種目ばかりでしたが、小学5年生の時に大会でソフトボール投げに挑戦してから投げることもおもしろいと思ったんです」と話す美里さん。部活のほかに、週2回クラブの練習に今でも参加している。

家族に支えられて

中学生になった美里さん

は、陸上部に入部。走ることも好きだったが、興味があつた砲丸投げをやることに決めた。「同じ種目の先輩がいなかったため、始めてから1年半くらいは本格的な指導者はいませんでした。でも、お父さんが一生懸命動画や本などで砲丸投げのことを研究してくれました。そのおかげで、2年生の新人戦では自己ベストを記録して優勝し、その時から本格的に指導を受けるようになり、現在のコーチに教わるようになりました」と、父と二人三脚で歩んできた練習の日々を振り返った。

限界へ挑み続ける

受験を控えた美里さん。勉強と陸上の両立は大変だが練習を怠ることはない。8月30日に開催された県予選でも見事に優勝を飾り、第45回ジュニアオリンピック陸上競技大会への出場に王手をかけた。「高校生になると投てき種目が増える。砲丸投げ以外に、やり投げや円盤投げにも挑戦してみたい」と彼女の挑戦は続く。

今後の活躍に期待したい。